

資料3 1年間の活動のまとめ－成果と課題－

	【令和6年度の重点】	【令和6年度 成果・課題等】
教科指導面	今年度で全ての学年が新課程となる。観点別での評価やタブレット活用など新しい取り組みが増えているが、そのことが生徒の成長につながるように、過去の反省を踏まえ改善していきたい。	タブレット活用については、有効に利用できている面もあるが、目的外使用で注意される生徒もいる。観点別評価については評価の仕方が定着しつつあるが、教員間での評価の差を感じることもある。
生活指導面	生徒会を主体とした自主運営・自主管理ができる学校作りを目指す。また、いじめの早期発見早期対応による安心安全な学校作りを行い、生徒が生き生きとした学校作りができるよう心がける。	生徒会が積極的な活動で自主運営に努めてくれた。様々な生徒指導問題に SNS が起因していることが多く、SNS との向き合い方について今後一層の対策が必要であり、職員全体で対処していく。
進路指導面	新課程入試1年目で、各入試において様々な変更が予想される。最新の情報収集に努めつつ、適切な情報提供と、変更に対応するための早期からの準備ができるよう、指導体制を整えていきたい。	共通テストの時間割変更や各大学における情報Ⅰの扱いについて確認をしながら進めることができた。来年度は共通テストの出願方法が変わるため、対応するための出願指導を丁寧に行う必要がある。
施設設備面	5年計画の4年目にあたり北側教室棟の外壁工事の実施予定である。統合型校務支援システム及びタブレット端末の活用法を充実させる。災害時における市の避難場所としての役割を果たしていく。	今年度の外壁工事は、今月末で完成予定である。統合型校務支援システムについては今年度勤務処理を本格運用した。また、今後も災害等の緊急時の避難場所としての役割を果たしていきたい。
その他	昨年に引き続き、地域連携、市立美術館との事業連携等により、地域の人的・物的資源の活用、社会教育との連携を通して、本校の特色を生かした教育活動を推進し、生徒の成長に繋げていく。	今年度も行政機関、市立美術館との連携により、マルシェや美術展の実施に至った。また文化祭において市茶業振興会と生徒会とのバザーが開催でき、今後の地域資源の活用の布石となった。

○ 各学年・学科から

1年	「君たちが選んだ松陽は最高の学び舎で、その選択はベストなんだよ」と語っている。次に中心学年となる彼らは、そのプライドを新入生に体現していく。
2年	部活動・学校行事・進路・人間関係などでおおいに苦悩した一年であった。これらの経験を活かし、進路実現に向け学年一丸となって取り組んでいく。
3年	生徒は集団生活の中で自己成長と進路実現を達成することができた。松陽高校での3年間の取り組みが今後の人生に生かされるように期待したい。
音楽	吹奏楽部、音楽部の活躍はもちろん、個人コンクールで生徒がそれぞれに優秀な結果を出してくれた。今後も引き続き生徒の学び充実のためサポートしていきたい。
美術	校内および地域の特色ある様々な行事やイベントに参加し、心身ともに成長することができた。公募展に出品し成果もあげている。※別紙参照。